＜ミレーナの入れ替えをご希望の方へ＞
＜ミレーナの抜去・再挿入の手順を変更します＞2025.04.14

　ミレーナ挿入５年経過や、４年強でも不正性器出血出現などで入れ替えを希望される場合、
以前は同日に抜去・子宮体癌検査・再挿入を行っておりましたが、
「保険者」からの申し入れで、全てを同日にすることはできなくなりました。

　ミレーナ挿入前には子宮体癌が無いことを確認することが必須ですが、
同日に「子宮体癌疑い」の病名で体癌検査を行い、その結果がでないまま次のミレーナを挿入するのは
おかしいという指摘がなされたためです。
そこで、一時期、入れ替え前に先に子宮内膜細胞診を行っておりましたが、ご本人の苦痛を最も
少なくするために再度の手順変更をいたします。

実際の手順は
1：入れ替え予定２カ月前（月経１週間前の時期がベスト）に
　膣分泌物検査（培養検査、遺伝子検査）、子宮頸がん検査、採血検査を行います。
　（通常これらは保険の関係上、時期を分けて実施していますが、この時だけは同時に行います。）
2：上記検査に問題があれば治療を行います。
　問題が無ければ上記検査の翌月、再挿入の１カ月前にミレーナ抜去と子宮内膜細胞診を行います。
　ミレーナ抜去は一瞬で終わり、ほとんど苦痛は生じません。ミレーナに付着している細胞で子宮内膜細胞診
　を行うと子宮内膜細胞診の苦痛を省略できます（個人差が非常に大きいですが、ミレーナ挿入・抜去より
　子宮内膜細胞診の方が疼痛は強い場合が多いようです）。
3：ミレーナ再挿入月の月経 4～7 日目、月経中に新規ミレーナの挿入を行います。
4：挿入時の疼痛が心配な方、子宮体癌検査の際の疼痛が強かった方、前回のミレーナ挿入時に疼痛が強かった
　方などは、希望がある場合には傍子宮頸管ブロック（抜歯をするときと同じ局所麻酔）を行えます。
　現在当院の流産手術はこの方法で行っており、大変有効に痛みを除くことができます。
　ただ、施行後一定時間の院内安静が必要となりますので小手術と同じように前もって日時を決めたうえでの
　実施になりますのでよろしくご了解お願いします。
5：月経が一度でも来るのが嫌だという気持ちはわかりますが、抜去後最初の月経はミレーナ挿入以前ほど強く
　なく、月経中に入れる方が“すべりがよく”挿入でき、より痛みが少なくミレーナの交換が終了するようです。

以上、健康保険を利用したうえで月経による苦痛をミレーナで軽減するために、健康保険と苦痛軽減の両方を
解決するために上記の手間が必要です。交換時の３カ月がかりの受診対応をよろしくご了解お願いします。